

工学研究院等 ShakeOut 消防訓練内容

(令和6年度 工学研究院等自衛消防訓練)

1. 内容

(A)	避難実演訓練..... 地震発生時の防災行動および建物からの避難	
	 参加対象: 「2. 対象者」の教職員・学生 場 所: 「3. 場所」の各棟	当日天気による対応  
(B)	自衛消防活動..... 連絡・誘導・消火・防護・救護の各活動	
	 参加対象: 「2. 対象者」の工学系事務部・学務部国際交流課 場 所: 「3. 場所」の各棟および避難場所	当日天気による対応  
(C)	煙中避難体験..... テント内での煙中避難体験	
	 参加対象: 希望者 場 所: 機械棟入口付近	当日天気による対応  
(D)	水消火器訓練..... 水消火器による消火器の実使用訓練	
	 参加対象: 「2. 対象者」の教職員・学生のうち数名(事前出欠調査) 場 所: 避難場所	当日天気による対応  
(E)	屋外消火栓放水体験 屋外消火栓の実使用訓練	
	 参加対象: 「2. 対象者」の工学系事務部(消火班) 場 所: 機械棟北側空地	当日天気による対応  
(F)	消防自動車展示解説 消防車の展示および機能解説	
	 参加対象: 「2. 対象者」および希望者 場 所: 避難場所	当日天気による対応  
(G)	オンデマンド訓練..... 訓練時の様子を撮影したビデオによる自衛消防活動の学習	
	 参加対象: 「2. 対象者」の工学系事務部 場 所: 各自のパソコン	後日学習

2. 当日スケジュール

	12:00	10'	12:30	45'	50'	13:00		後日
教職員・学	(A) 避難実演訓練		(F) 消防自動車展示 解説					
	(C) 煙中避難体験							
	(D) 水消火器訓練 (解説)		講評	(D) 水消火器訓練 (実演)				
事務部	(B) 自衛消防活動		(C) 煙中避難体験		(E) 屋外消火栓放水体験			
						(G) オンデマンド訓練		

※ 当日は、朝 10 時 20 分頃に全館放送にて、当日天気による対応（雨天時、一部訓練中止）を案内します。

3. 避難手順（A.避難実演訓練）

(1) 訓練開始の放送（12 時 00 分開始）

「地震と火災の防災訓練。地震と火災の防災訓練。これから工学部土木棟、機械棟、資源棟および周辺建物の防災訓練を始めます。これから工学部土木棟、機械棟、資源棟および周辺建物の防災訓練を始めます。ただ今、震度5強の地震が発生しました」

(2) 地震警報音（放送）約 30 秒間

「訓練、訓練」チャイム音（4回）「これは緊急地震速報の訓練です」

(3) 安全行動の1-2-3

(2)の地震警報音（放送）が鳴っている間、以下の「安全行動の 1-2-3」を行う。



日本シェイクアウト提唱会議HPより

【参考】気象庁 HP より抜粋「震度とゆれの状況」

(4) 火災報知器（(2)の放送終了後、しばらく時間を置いて、数十秒間、報知音が鳴る）

「～警報音♪～ 火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。～♪警報音♪～」

(5) 火災を知らせる人の声、「火事だ」（火元に近い研究室から）

火元に近い場合、(4)の報知音の前後で、出火想定の研究室から火事を知らせる「火事だ」の音が聞こえる。

(6) 建物から避難し、指定の避難場所へ移動。

(4)の報知音または(5)の火災を知らせる人の声により、避難場所へ避難する。なお、エレベーターは閉じ込めや下から上がってくる火の通り道となる恐れがあるため、使用しない。

※ 注意事項

(4)の報知音は、建物の老朽化による誤報や、一瞬の鳴動ですぐ止まってしまう場合などがあり、避難を躊躇する場合もあるかと思います。周囲の状況をよく確かめながら、基本は建物から避難することとし、残る場合でも、その後の避難を要請する放送や、駆けつけた自衛消防隊の誘導員の避難の指示があった時は、必ず建物から避難するようにしてください。火が見えなくても、下層階が炎や煙に包まれ、逃げ遅れにつながるおそれがあります。十分な確認が必要です。

(7) 避難場所に参加者名簿に避難受付を行う。

避難場所では研究室ごとに集まり、代表者は本部机に備え付けの自研究室の避難者名簿に記入してその場で提出する。（安否確認に該当）

※ 対象建物以外の研究室所属者は、同じく本部机に備え付けのその他の研究室用の避難者名簿に記入してください。

(8) 消火器使い方の解説

(9)の講評が始まるまで、適宜、職員により行われる消火器の使い方の解説を聞く。

(9) 消防署員および研究院長講評

講評終了後の付属訓練（煙中避難体験（避難時未体験の者）、消防自動車展示解説）は自由参加となるが、予め指定を受けた者は水消火器訓練の実演に参加し、終了となる。

4. 各訓練場所(詳細地図)

※ 注意事項：今回の避難場所あくまでも訓練用の避難場所です。実際に災害が起きた時は、本ページへのリンク前のページ、「5. 参加申込み」の(2)の①に記載の避難場所を利用願います。

赤矢印 (→) …今回訓練時の避難経路

※ 実際の災害時は、

- ・各建物の正面出入口以外に、非常階段や1階研究室に設けられた出入口を利用する。
(できるだけ火元から離れた階段、出入口を利用する)
- ・屋外では、落下物を避けるために建物から離れて移動する。

など、周囲の状況を的確にとらえ、積極的な自主的判断が求められます。

※ 雨天時の避難は、避難場所を工学部正面玄関内とし、青矢印の経路で移動してください。

